



# 情文センターFAX・メール通信

秋になってまいりました。ウイズコロナと言われて2回目の秋です。お元気でいらっしゃいますか？情文センターでの集まりは厳しくなりましたが、他会場をお借りして少しずつまた皆様の生活の質の向上や生活に彩をそえるお手伝いのできたらと思っています。緊急事態宣言が無事解除された後は、感染予防に留意しながらプログラムを実施する予定です。ご無理なき範囲でご参加ください。あわせて相談支援は引き続き力を入れてまいります。些細なことでも構いませんのでどうぞご利用ください。

さて、コロナ問題を受けて私もいろいろと考える日々であります。先日テレビで観た番組に刺激をうけましたのでご紹介します。BS1 スペシャル「コロナ新時代への提言 それでも生きてゆける社会へ」3人の研究者が発言していました。(独立研究者 山口周/経済思想家 斎藤幸平/医療人類学者 磯野真穂)この3人がこのコロナ禍でたまたま読み返したという児童文学書「モモ」(ミヒヤエル・エンデ著)を引用しながら、それぞれが、これからの社会の在り方や人としての生き方について感じていることを語る内容でした。3人の言葉で印象深かった言葉をお伝えします。「モモは退屈とどう戦うかがテーマ」「モモは脱成長の物語」「モモは出会いの中でしか得られない時間を生きている」「人類は長い進化の中で感情を獲得した」「時間をとらえるのはこころ」「感情を回復させることが大事」「人は自分の時間をどうするかは自分で決めなくてはならない」「暮らしを大切にすれば共感と理解ができてくる」「これからは富を分け合わなくてはならない」断片的な言葉ではありますが、この番組を見て私は、あらためて「暮らしを大切にしよう」「感情を大切にしよう」と思えたのです。何があっても陽が昇り沈んでいく毎日の中で「時間というものについて身をゆだねながら、人との出会いの中で得られるよい感情を大切にしよう」と思えたのでした。モモは傾聴が得意でいつも人の話をだまって聴き、静かな時を一人で何時間でも過ごすことができます。そんなモモと皆話がしたくなるのです。こんな刺激を得られたのもゆったりした時の中のテレビの一コマ、字幕のおかげでした。一部の者だけの富ではなく、富も権力も分配しあえる社会を想像してみると、自然と、みんなの笑顔が思い浮かびました。人とのかわりの時が得られますように。皆様がお元気で過ごせますように。

施設長 森せい子

## 聴覚障害者情報提供施設のお知らせ

### \*やさしいヨガ\* 申込必要・無料

日時:①10/5(火) ②10/21(木)  
いずれも14:00~15:00

会場:港勤労福祉会館 体育館

※東京都障害者福祉会館の隣

定員:各回25名 定員に達し次第締切り

講師:大前裕子氏(手話通訳あり)

※ヨガマットはご持参ください。その他詳細は参加決定者にお知らせします。



行事に参加する時は、感染防止にご協力をお願いします。

①体調が良好な状態 ②マスク着用 ③密にならない

### \*手話サロン\* 申込必要・無料

日時:10/14(木)10:00~11:30

会場:東京都障害者福祉会館 A1

手話で気軽におしゃべりしましょう。

聞こえない家族がいる聴者は参加できます。



### \*聞こえの相談会\* 申込必要・無料

10/30(土)(月1回開催予定)

言語聴覚士(ST)が聞こえと補聴器についてお困りのことにお伺いし、不安を軽くするお手伝いをいたします。お気軽にご相談ください。ご家族の同席も歓迎です。※補聴器の販売はありません。

会場:当センター

申込:希望の時間を次から選び下記までお申込みください。

①10時②11時③13時④14時⑤15時

### \*日本語字幕付映画上映会\* 申込必要・無料

『時をかける少女』1983年104分大林宣彦監督作品

日時:10/28(木)13:30~15:30

会場:東京都障害者福祉会館 児童室 B

時間を跳躍する不思議な力を持った高校生、和子(原田知世)の身の回りに不思議な出来事が起きる。筒井康隆氏のSF小説の映画化。



(社福)聴覚障害者情報文化センター聴覚障害者情報提供施設 〒153-0053 東京都目黒区五本木1-8-3

TEL:03-6833-5004 FAX:03-6833-5005

Eメール soudan@jyoubun-center.or.jp ウェブサイト http://www.jyoubun-center.or.jp/

【開館】火~土曜日10時~17時 ※金曜日夜間開所は当面中止【閉館】日・月曜日・祝日・年末年始

★FAX・メール通信の配信停止、配信方法の変更などありましたらお知らせください★